

我が国の対アフリカ平和の定着支援： 新たなイニシアティブの下での当面の支援 (2006年2月発表)

(注) 以下は2月に実施予定の案件(支援額、経由機関)。*は1月に実施。

シエラレオネ

紛争被害地域のコミュニティ開発
(211万ドル、UNDP)

スーダン

紛争犠牲者に対する医療支援
(200万ドル、ICRC)
南部ジュバでの緊急開発調査*
(450万ドル)

リベリア

元児童兵社会復帰・紛争後の
コミュニティ支援
(678万ドル、UNICEF)
紛争避難民再定住のための
コミュニティ支援
(215万ドル、UNHCR)
小児感染症予防計画*
(221万ドル、UNICEF)

コンゴ(民)

元兵士の動員解除・武装解除・
社会復帰 (506万ドル、UNDP)
平和の構築のための教育、児童保護
支援 (1,095万ドル、UNICEF)
小児感染症予防計画
(600万ドル、UNICEF)
食糧援助*(355万ドル)

大湖地域

元児童兵社会復帰

(200万ドル、UNDP / AU)

コンゴ(民)、ブルンジ、ルワンダ、ウガンダ

ブルンジ

地雷対策能力強化及び地雷
除去支援
(55万ドル、UNMAS)
紛争後の教育支援
(727万ドル、UNICEF)
紛争被災民の社会復帰・経済
的自立支援
(98万ドル、UNDP)

総額: 約6,000万ドル

(約64億円)

我が国は、05年7月のグレンイーグルズ・サミットの機会に、アフリカの平和の定着に向けた支援の拡充を表明。この具体化として、06年2月のTICAD平和の定着会議の機会に新たなイニシアティブを打ち出し、その下での当面の行動として、平和の定着が特に重要な課題となっているスーダン、大湖地域、西アフリカを中心に、06年3月末までに6,000万ドルを目途とする支援の実施を表明。